

森山直太朗が大阪にて無料招待のライブを開催！

65倍の倍率となったプレミアチケットを手にした観客を前に13曲を披露

SPACE SHOWER TV × J:COM

森山直太朗 Precious Live in 大阪



株式会社スペースシャワーネットワーク(本社:東京都港区、代表取締役社長:近藤正司)が運営する日本最大の音楽専門チャンネル「スペースシャワーTV」と国内最大手のケーブルテレビ会社である株式会社ジュピターテレコム(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井村公彦)は、2019年12月8日(日)に大阪府・サンケイホールブリーゼにて、森山直太朗を迎えたスペシャルライブを開催いたしました。

これまで全国各地で実施してきた、スペースシャワーTVとJ:COMのタッグで贈る完全招待制のプレミアムライブ。今年は、独自の世界観と唯一無二の歌声で幅広い世代から支持されるシンガーソングライター森山直太朗を迎え、大阪で開催いたしました。全国から39,000名を超えるご応募をいただき、幸運にも選ばれた600名がこの日限りのプレミアムライブを堪能。木材を組んだシンプルなステージセットを背に、マンドリンやバンジョー、ヴァイオリン、チェロなどが入り混じるアコースティック編成での一夜限りの特別なライブとなりました。

なお本イベントは、「J:テレ(J:COM テレビ)」*にて2020年1月13日(月・祝)に最速オンエア、スペースシャワーTVにて1月25日(土)に完全版をオンエアすることが決定しております。また「J:テレ(J:COM テレビ)」放送日の1月13日には東京ソラマチ®「J:COM Wonder Studio」にて、どなたでも無料でご覧いただけるパブリックビューイングも開催致します。

*J:COM 対応済の建物にお住いならどなたでも無料で視聴可能 / 視聴可能世帯数は約13,865,200世帯(2019年9月末時点)

【イベントレポート】

【イベント概要】

「SPACE SHOWER TV × J:COM 森山直太郎 Precious Live in 大阪」

- ・開催日時…2019年12月8日(日)
- ・会場…サンケイホールブリーゼ (大阪府大阪市北区梅田2丁目4-9)
- ・募集人数 600名様

※事前応募による完全招待制、スペースシャワーTV、「J:COM」の有料サービスの加入・未加入を問わず、どなたでも応募可。応募期間 2019年8月20日～11月4日

- ・イベントホームページ…<http://sstv.jp/naotaro>

【放送概要】

◆最速版

「SPACE SHOWER TV × J:COM 森山直太郎 Precious Live in 大阪」

- ・放送日程 2020年1月13日(月・祝)20:00～21:00(60分番組)
- ・放送チャンネル J:テレ(J:COM テレビ)

◆完全版

「森山直太郎 Precious Live in 大阪」

- ・放送日程 2020年1月25日(土)22:00～23:30(90分番組)
- ・放送チャンネル スペースシャワーTV

【パブリックビューイング概要】

「SPACE SHOWER TV × J:COM 森山直太郎 Precious Live in 大阪」パブリックビューイング

- ・日時:2020年1月13日(月・祝)20:00～21:00
- ・会場:「J:COM Wonder Studio」(東京ソラマチ® イーストヤード5階)
- ・入場料:無料
- ・イベント詳細 WEB サイト:https://c.myjcom.jp/wonderstudio/202001_04.html

LIVE REPORT

12月8日(日)、大阪サンケイホールブリーゼにて「SPACE SHOWER TV × J:COM 森山直太郎 Precious Live in 大阪」が開催された。日本最大の音楽専門チャンネル「スペースシャワーTV」と国内最大手のケーブルテレビ会社「J:COM」がタッグを組んで贈る完全招待制プレミアムライブシリーズであり、毎回、応募者が殺到する。出演は、「さくら(独唱)」(2003年発表)のリアレンジナンバー「さくら(二〇一九)」が話題を呼んでいる森山直太郎。65倍という高倍率の中、チケットを手にした600名の幸運なオーディエンスが、一夜限りの贅沢なステージを楽しんだ。

まず会場に入り、そのステージセットに目を奪われた。舞台には木材のみで作られたシンプルな枠組みと、端にはピアノが置かれている。そして開場中の場内 BGM には大阪の駅のホームや街並みの雑踏の音が流れる。この時点で一味違う、特別なライブである事が予感され会場の期待が高まっていく。そのまま暗転される事もなく、気がつけばコートを着た森山がギターケースを持ってステージに現れていた。ギターケースを置き、舞台真ん中で軽く会釈をして、アカペラで「しまった生まれてきちゃった」を静かに歌い出し、その途端に会場の空気が森山の声を一音でも聞き逃すものか、といった風に心地良く張り詰める。“辿り着いたよ新宿の街”という歌詞が“辿り着いたよ大阪の街”と歌われ、本当に辿り着いたまますぐに歌い出したかのような演出に、その場にいた観客全員が息を呑み、そして内心は驚いていたであろう。だが、初っ端から異様に惹きこまれていたのも事実である。

続く「いつかさらばさ」では、椅子に座りギターで弾き語る。曲終わり、「揚げ物で言うならば、最初の2曲は素揚げで塩振って、みたいな。この後どうなるのか?!」と独特の例えで表現して、場内の空気を和らげる。“このイベントの打診を受けた時の気持ち”と明かしてから披露した「あなたがそうまで言うのなら」というタイトルコールでは、場が更に沸く。ギタリストが加わり、次の「声」ではヴァイオリニストとチェリストが加わり、ようやく場内も暗転して、一気に締まった空気感の中、ライトで照らされた森山が歌う。

コートを脱いで歌い始めた「さくら(二〇一九)」ではピアニストが加わり、遂にメンバー全員が揃う。「さくら」を歌うとやりきった感じがします」と歌い終わりに冗談交じりに話したが、去年10月から今年6月まで行っていたコンサートツアー「人間の森」も振り返り、

【イベントレポート】

今は自身の足元を見つめ直す時期と語った。このリアレンジされた楽曲に込められた新たな想いを、しっかりと観客も受け取ったのではないだろうか。「糧」では、センターマイクで歌う森山の両サイドで 2 人ずつメンバーが演奏し、手拍子や足踏みもして、観客を盛り上げていく。木材で組まれたシンプルなセットからは幕が下りる。ライブ中に演奏者にも舞台にも変化が起きていくライブは、これぞ生の舞台を観ているという臨場感があり、ワクワクするし、ドキドキしてしまう。

ゴスペルやカントリーなど色々なジャンルを歌う事を説明した上で、「根っこはフォークです」としっかり宣言して、「フォークは僕に優しく語りかけてくる友達」へ。そして、木材で組まれたシンプルなセットから下りていた幕はまた上がっていく。全体的に穏やかで緩やかな空気感は保ちつつも、少しでも目を離すと変化を見逃してしまう、これぞまさに釘付けになるライブだ。11 曲目「生きてることが辛いなら」を歌い上げた後、「次の曲で、ほぼ最後です」と呼びかける。そして、「『ほぼ』って何だ?!」と笑う。改めて、自身の足元を見つめ直す時期と語り、だからこそ、「こういう曲を歌い続けないとダメだな」と話して、「コンビニの趙さん」へ。ステージ前方に腰掛けて、“うらうらうら春うらら サンドルの音を 響かせて”と気持ち良さそうな笑顔で歌い始めた。

「このコンサートにはアンコールがありませんので、この曲を聴きながら帰り支度をしてください」と言い、本当に最後となる「明けない夜はないってことを明けない夜に考えていた」へ。曲中、ひとりずつメンバーが舞台から去り、最後は森山ひとりに。曲終わり、ギターをケースにしまい、「良いお年を！」と言って去っていく。

常に変化を、チャレンジを、試みを、全く忘れない森山の精神性を改めて感じる事が出来る、そして最後まで歌の力を感じられる見応えのあるライブであった。この模様は、「J:テレ(J:COM テレビ)」にて、年明けの 1/13(月・祝) 20:00 より 60 分間のプログラムで最速オンエアされ、1/25(土)にはスペースシャワーTVにて 22:00 から 90 分の完全版が放送される。是非とも、多くの方に観て頂きたい！

※特別番組での放送楽曲は未定です

<セットリスト>

M1.しまった生まれてきちゃった/M2.いつかさばさ/M3.あなたがそうまで言うのなら/M4.声/M5. さくら(二〇一九)/M6.花鳥風月/M7.糧/M8.さっきのバイト君/M9.君のスゴさを君は知らない/M10.フォークは僕に優しく語りかけてくる友達/M11.生きてることが辛いなら/M12. コンビニの趙さん/M13.明けない夜はないってことを明けない夜に考えていた

文:鈴木淳史 / 写真:AZUSA TAKADA